

感染症情報 8月7日～13日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	373例(堺市	23例)
②咽頭結膜熱	311例(堺市	35例)
③溶連菌感染症	260例(堺市	40例)
④RSウイルス感染症	142例(堺市	13例)
⑤ヘルパンギーナ	126例(堺市	12例)

府下301医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 201例(堺市 20例)

前週比39.7%減の1,330件の報告数であった。お盆を含んでいることを考慮する必要がある。感染性胃腸炎が府下で前週比36%減、堺市で前週41例→今回23例であった。咽頭結膜熱が府下で33%減、堺市で前回39例→今回35例であった。溶連菌感染症が府下が36%減、堺市で前週46例→今回40例。RSウイルス感染症が府下で38%減、堺市で19例→13例であった。ヘルパンギーナは府下で60%減、堺市で34例→12例であった。

インフルエンザが府下で前週253例→201例で21%減、堺市で前週24例→今回20例であった。定点当たり大阪府は0.85→0.67、堺市で0.86→0.71であった。

府下301医療機関(堺市28)から

新型コロナウイルス感染症 3,078例(堺市 446例)
大阪府定点 10.23 堺市定点 15.93

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
104	245	226	379	294	312	298	388	254	308	270	3078

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週4,093例→今回3,078例で25%減、定点当たり13.69→10.23に、堺市は前週534例→今回446例で16%減、定点当たり19.07→15.93であった。数値的には減っているが、こちらもお盆を挟んでいることを考慮する必要がある。大阪府のブロック別の定点当たりでは、堺市ブロックのワーストが続いている。

麻疹や風疹の報告はなかった。